

うねりの危険性

—毎年、うねりが要因と思われる海難事故が多く発生している—

台風周辺の強風で発生した高波が、うねりとなって遠い海岸付近まで到達。海岸付近では急激に波が高まり、海難事故が発生しやすい。



うねりはあるが、天気は良く、
風も穏やかで、沖合は波の
静かな状態

海岸付近に到達したうねり
で発生した高波！



これがうねりの
危険性！！

「うねり」の伝わる速さは、時速30km～50kmと、台風の進行速度より速い。日本の沿岸には、台風より先行してうねりの方がやってきます。昔から、夏から秋にかけて太平洋に面した海岸に押し寄せる高い波(うねり)を「土用波」と呼んで、高波に対する注意を促していました。

顕著なうねりがあるとき！

たとえ、波浪注意報が発表されていなくても
海岸付近では、急な高波に注意が必要です！

**波浪予報の「うねりを伴う」は、
「海岸付近の波浪注意報」と考えましょう！**